

# あーら

## MINI <2号>

1977年2月発行 ¥150 千60

—今月のなかみ—

「スタイリストはなぜ死んだ」	1
「快談・怪談」 夫についてホンネを語る あーら東海有志	2
「集会から」 司法界の女性差別を告発する集会ほか	7
「資料」 国内行動計画	8
「読む」 主婦とウーマンリブ・ノラは家出してどうなったか	10
「第一期CRに参加して」 中村肇子ほか	10
「あーらメイト」 山口里子さん	11
「これから・その後」 婦人タレントコーナー	11
「実務シリーズ」 やさしい編集2 セガわ・ともこ	12
「切抜きから」 七七年一月六日～二月七日	13
「女のつどい・女の講座」 二月二十日～三月二十五日	16
「各地のあーらの例会案内」	16

「あーら」は会員の拠出した基金と年会費および雑誌「あーら」「あーらミニ」の売上で運営されており、どの企業、どの政党、どの団体からも1円の援助も受けていません。年会費は婦人問題総合情報誌「あーら」(A5 180ページ)とまで4,000円。「あーらミニ」のみ購売の場合は2,000円(いずれも送料とも)です。会費・誌代は振替でどうぞ。

〈女と男〉のミニ雑誌〈あーらミニ〉 ●何でも言える  
●何でも書ける ●小さな〈ひろば〉=AGORA・〈あーら〉  
●あなたの声を待っています。下欄の編集部へどうぞ。

# スタイリストはなぜ死んだ

スタイリストを職業とする女が焼身自殺した。「育児と仕事の板ばさみ」との報道に、同性である主婦の批評はきびしかった。「離婚すりやよかったのに」

働く女の多くは心をいためた。それと似た非難のまなざしを我が身に感じたことが皆無だと言いきれる人はほとんどいまい。彼女の上に起こったこと、それは明日の我が身に起こりかねないことだ。

真剣に生きようとすればするほど、働く場はきびしい。同じ仕事をしてても女の仕事は割引きして考えられやすい。女たちは背伸びし、一二〇%、一五〇%の仕事をして、やっと一人前に評価されたことに苦笑する。そして疲れて帰る我が家には、料理が、洗たくが、掃除が、山のように待ちうけている。それは「女の仕事」とされているから。

一九七五年七月、メキシコで開かれた世界婦

人会議は、「世界行動計画」で女性差別の根源は、家事育児は女の仕事という「性的役割分業」であることを指摘し、参加した各国政府代表は、その解決に向かって実行することを誓った。

一九七七年二月一日、日本の閣議は、「世界行動計画」に基づいて義務づけられた「国内行動計画」を諒承した。が、「世界行動計画」の根幹である「性的役割分業の固定化の解消」は、みごとに忘れられていた。

多くの婦人団体が抗議の声をあげ、抗議の行動を開始した。彼女たちがなぜこんなにもいきどおっているのか、残念ながら大多数の女たちには伝わっていない。それは私の問題だ。あなた自身の問題なのだ。ひとりの優秀なスタイリストを死に追いやった同じ基盤が日本中に厳然とあり、しかもそれを取払う姿勢が為政者にまるでないことにいきどおっているのである。

なぜ女だけが家事、育児の全責任を負わなけ

ればならないのか。子を生み、家庭をいとなむのは、男女の共同作業ではないのか。

なぜ女が働くことは当たり前で、すべての人がへ生働くことは生きることであり、すべての人がへ生きる権利・生存権」を持っているのと同様に、すべての人がへ働く権利・労働権」を持っていることが認知されないのか。

なぜ女は人間として評価されないのか。たくさんさんの「なぜ」に向かって、女たちはいま、声をあげている。女の力、女のいのちを、特定の企業、特定の男、特定の力のためにだけ利用されるのはもうたくさんだ。ひとりひとりが生き生きとした人間として生きたい。

あのスタイリストのような事件を、二度と起こしてはなるまい。いま公布されようとしている「国内行動計画」は、私たちひとりひとりの生とかかわっていることを見つめていこう。

本誌八ページにその原文を掲載した。あだやおろそかではなく読んでほしい。

(千)

# 夫についてホンネを語る

快談・怪談

青木道子

木村ふみ

松本シーラ

〈あごら東海有志〉

石井光子

寺田順子

(50音順)

井上和江

広瀬則子

司会・高橋ますみ

遠藤雅子

藤原和代

傍聴・天野正子

## 夫は妻はバカで家にいるが言い

司会 十二月の〈あごら東海〉の例会で「婦人問題の視点から夫を語る」つどいをしてしよう。忘年会も兼ねて、ビールも二本ぐらいとって、なべをつついて。題が題だから、みんなへんなある種の期待をもって来たわけ。そしたらすごく深刻になっちゃって。おのろけは一つも出なかったし、あの旦那さんはうらやましいという話も全然出なかった

青木 よそから見ても、まア、しあわせネ。と言われるのが私の家庭。一流会社の管理職、学歴、地位申し分なし。でも、結婚のときにもう間違ってたのね。トシだから結婚しなくちゃということ、生活は安定しているか、学歴は、家族は、なんてことばかり考えて見合したから。

いま十一年目。彼は生活の全部が会社に向いている。帰宅は十時すぎ。有給休暇なんてほとんどとらない。ウー・マンリブは大嫌い。「あれは共産党じゃないのか」なんて言って（笑）。「お前がそんなことをしてみろ、オレの出世にさわる」とまでは言わないけど、言外にブンブンにおうのよ（そう、そう、の声）。

外へ出るの大反対。もし出るなら家事万端ぬかりなくやって出る。出るヒマがあるならもっと子供の勉強を見る。父親の責任だ。でしよう。それじゃ子供が大きくなったとき何も残らないもの、と言うと、「女は死んだとき〇〇氏ご母堂と書かれればそれが一番しあわせじゃないか（爆笑）。勉強なら家で本を読め……」

（笑）。みんなお互いさま……ということ、別れたわけだけど、それだけでいいの、日本の夫婦関係とか、女が自分を生き切るための結婚とは何か、もっと掘下げて考えようということになったわけだ。

子供を預けて実家とのつきあひもあったから遠慮してたんでしよう。口ぐせは「なみの女になれ」なのよ。私は「なみの女プラス教養」でありたいと思うんだけど、料理、洋裁、着付みたいなことないけど、講演会や文学講座などまかりならぬ、というわけ。新聞読んでも書き物してもいい顔しないのよ。女が教養を身につけると男の値打ちが下がると思ってるのかしら。

だからこのごろはどこに出かけるのも行先を言わないの。夫は金なる木だと思ってるべきことだけはしてね（笑）。だけど、こんなことしたらだんだん距離ができるんじゃないかと思って……

遠藤 結婚してからも九年働いてたのだけど、やめたとき宣言されたの。「これからはもうオレのしたいようにするからな」。そしてそのとおり、洗濯も掃除もピタッとやめちゃった。働いてる間は私のほうが給料が多かったし、実家に

## 妻は夫は丈夫でるすがいいと言

井上 私は学生結婚。出発点は間違ってたな。彼が学生の間は私が働いて、経済は全部引受けてたの。互いに束縛しあわないで協力できることは協力して暮らそうみたいな感じだった。

だけど卒業して就職し、だんだん仕事が増えてきたら協力しなくなったわね。私が何かやることをとめることはしないし、むしろ自分のやりたいことをどんどんしろと口では言うけど、妻が

すがちなのはおもしろくないし、うちにいるときに私が家事以外のことをやるといい顔しないの。だから「亭主は丈夫でるすがいい」（二回、同感の爆笑）。今は海外に行ってるので私の天下。居間で堂々と本を読んだり原稿書いたり、ウキウキしちゃって、子供たちが「お母さんはお父さんがいないとどうしてそんなにうれしそうなの」と……（笑）。

木村 私は親がよすぎた（笑）。父親は



母親にやさしかったし、母は自由で生き  
生きていた。親類じゅう見ても不幸な  
結婚などして人がいなかったし、何の  
心配もしないで結婚したの。

そしたら姑が大変で大変で。夫より  
必ず二時間は早く起きろ、風呂には絶対  
に先に入るな、新しい服は買うな。も  
ちろん外出などするとカンカン。新聞は  
翌日になってクシャクシャになったのし  
か読めないし、それも読める日はいいほ  
う。五分でもヒマがあったら家事をしろ  
と。私は「修身」で育った世代だか  
ら、何ごとでもガマン、ガマン、いつか真  
心は通じると思って二十年暮らして来た  
けど、姑の言いなりになっている夫も人  
間として自立してないんじゃないかと気  
がついたわけ。

藤原 私は「逃げ出し結婚」ね。父親と  
のかつとくに疲れ果て、からだもこわし  
て、とにかく家から出ようと見合したら  
「天皇制反対」なんて見合の席で言うで  
しょう。そのことばだけにコロッと参っ  
たのが運のつきよ(笑)。

価値観が一致してると思ったのだけど  
シンは封建的。家にいて家事育児に専念  
してほしい。仕事をするとしても教師の  
ような知的なことはするな。近所の工場  
のパートか、行商みたいなことならいい  
と。ほんで、編物したりしてたけど、  
なんかむなしくなってねえ。うちに子供  
たち集めて勉強教えて、婦人問題の討論  
させたり(笑)、彼のするす中をいいこと  
に造反始めてるわけ。

司会 あなたのとこなんて、すごくやさ  
しそうだし、理解がありそうなのに、大  
学出てるあなたに「知的な職業につく

な」なんて言うの？

藤原 まったしかにやさしいところはあ  
るし、家庭の中じゃ掃除なんかもするし  
比較的協力的だと思うけど、私が何をし  
たいのか、どう生きたいのかには理解も  
関心もないのよ。ヒマだからやってるん  
だらう程度にしか思っていないのよ。話  
しても反応がないから、必要なことだけ  
しかこのごろは話さないの。それにもう  
私たちぐらゐの年になると、新婚ホヤホ  
ヤの何を言ってもゆるしあえるベタベタ  
時代と違うでしょう。一つ何か言うとか  
ガラガラと全部くずれてしまいうそで。  
こうして「へあごろ」でみんなと話し合っ  
て息抜きして、また「良妻賢母」の能面  
をかぶって暮らす。私は生き腐れになる

## 妻が伸びるのをなぜ恐怖するの

司会 と、こんな状況で、話せば話すほ  
ど深刻になってくるんだけど、「へあごろ」  
の趣旨はグチは言うまい、被害者意識は  
持つまい、できるだけ建設的に考えよう  
ということでしょう。じゃあどうすれば  
いいかってことを考えましようよ。

寺田 まず、こういう会に出て、こうい  
う話を聞くことね(笑)。自分の心の中  
だけでモヤモヤしてたのが、なるほど  
と、何か少しずつ形が見えてくる。

司会 人の話聞いてて、みんなどんなと  
ころに共感した？

青木 私は「へあごろ通信」の宛名書きし  
てるのをみつかって差止められてしま  
いました。何というひどい話かと  
思ってしまったけど、ご主人の在宅時間  
は「へあごろ」も読めないという話がこの

んじゃないかと、離婚を考えたこともあ  
るけど、子供も小さいもんだでねえ。

石井 うちが暴力亭主。(まさかの声)  
外づらがいいというか、一見申し分な  
い紳士風。でも私アバラ骨まで折られた  
ことがあるよ。自分の仕事がいまいいか  
ないと、狂気のように暴力をふるうで  
ね。誰も「まさか」と思うでしょうけ  
ど。本気で離婚しようと思ったし、家出  
して住込みに行ったこともあるでよ(へ  
えっという声)。そんなときに限って動  
物的な嗅覚が働くというか必ず見つけ出  
されてしまつて、今はあきらめの境地。  
この一年ぐらゐは暴力ふるわないし、私  
もう疲れて、逃げ出す元氣もなくなっ  
たで。

前出ましたね、あれを聞いて、上には上  
があったと。

藤原 どこともおんなじよ。年取るとどう  
しても男はワンマンになる。

木村 体力がなくなると、横暴になるの  
かしらねえ(笑)。

遠藤 このあいだ、初めて「青春と文  
学」という講座に出させて頂いたのよ。  
うちの中のこときちゃんとやるから、月曜  
から金曜の夜に出させてほしいって頼ん

だの。そしたらそのチラシの上に「着付  
け教室」の広告があるのを見て、「どう  
せやるンなら、こういう実用的なのをや  
れ」(爆笑)。

司会 男はなぜあんなに女房の外出を嫌  
うんでしょうね。松本シラさんなんか  
どうですか。日本人と結婚して。亭主関  
白ということはありますか？

松本 結婚する前に日本人のルームメ  
イトに言われました。何でもハッキリ言っ  
たほうがいい。「好きなときに外出して  
も怒るな」「自分の服は自分で片づけな  
さい」とか言いなさいってね。それが効  
果あったのか、しあわせですね。

遠藤 行動の自由はありますか？

松本 何でもハイ、ハイ、ゆるしてくれ  
る。だからしあわせ。

石井 それは特別な夫に当たった  
(笑)。

司会 天野先生なんかお仕事お持ちだけ  
ど、どうですか？

天野 最低限のことだけはやる、という  
約束なの。待ってても夕飯は出てくるわ  
けではありませんし、子供は待ったなし  
です。でも最低限やれば何をやってもし  
い、とは言ってくれます。

広瀬 天野先生ほどの有能な方でも、た  
とえ「最低限」でもやらなくちゃいけな  
いということねえ……。

## 男も女もいいカミソリを

遠藤 でも仕事を持ち、経済的な自立が  
あると強いわね。女が経済的な基盤をな  
くすためねえ。働いてたときは、夜の  
九時十時に「メシ」なんて言われると、

うで自分を低くしてしまふ…。

司会 その「自分のほうから」というところ大事なことじゃない？

木村 私も、一面ではむしろ「自分のほうから」姑に仕えたわけ。髪に白いものがまじるようになってつくづく思うのは、結局私はいいかっこしたかったんじゃないかということ。世間からいい嫁と思われない、夫にもいい女房と思われないというところがあつたんじゃないかと…。

石井 女というものを自然にそういうふうにし、おらしくさせてしまふ世間というもの、社会通念というものがこわいねエ。

寺田 それにしても、男はどうして、あんなに妻の外出を嫌がるんでしょう。

青木 どの人の話を聞いても、妻が出かけるのを無視してゐるっていうのはまだタチのいいほうで、出かけることイヤな顔をする。まして「どんだんおやり」とは言わない。黙認してた人たちも、妻がある一定程度以上熱中しだすと必死になつて妨

## 世間世間と嫁がどういふ

司会 この前からいろいろ話が出ただけで、妻が家事以外のことに目を向け始めると、例外なく夫から出ることは「家の中をきちんとしてから」でしたよね。そして妻の活動を批判するときは「最近家の中が片づいてない」「子供のことをもっとかまてやれ」（一同うなずく）。つまり妻が何かすることによって自分にシワがくるのが嫌なのね。子供のいい人はいはそれでも何とかなるけど、出産

害しはじめる…（笑）。

藤原 つまり男はケチなんだ（爆笑）。

井上 タチマエとホンネが違う。口では理解のあることを言つても協力しない。あるいは協力できない。

木村 若い人でも洗濯をするのはいいけど、干すのが嫌だつていう男の人が多いみたいね。人に見られるのが嫌だつて（笑）。

司会 そのへんじゃないかしら。女も世間を気にしてるけど、男も世間を気にしてる。

広瀬 つまり人間として自立してないことでしょう。女の自立、自立って言われるけど、男も自立しないと。

藤原 すつきりと、堂々と、人間らしく生きられない、その背後にあるものを考えんといかんね。うちの夫でも、私の活動について理解や協力ができないのは、必ずしも夫自身の考え方が全く違うとは思えない面があるでね。むしろ夫の側に、したくてもできない状況があまりに多すぎるんじゃないかと…。

で少し休むつもりがズルズルとそのまま十年も活動の場から離れることが多い。しかもれっきとした仕事を持つてる人でも、共働きをするについて「家事は夫に迷惑をかけない」ことを誓わされてる人が多いのね。

井上 じゃあ子供が大きくなり、家事のシワ寄せがあんまり夫にからなくなつたら妻の活動に寛大になるかといえは、必ずしもそうじゃないのよ。その時点で

は別の形で文句が始まる…。

藤原 青木さんの話にあつたように、自分の出世の妨げになるんじゃないかという心配が出てくるでね。特に地位が上がれば上がるほど、自分の生活のすべてを所属する組織の中に組込んで、上だけ向いて走るでよ、妻や子供が何か変わったことをしてくれたのでは大迷惑なわけ。

広瀬 それほど上昇志向がない場合でも生活に余裕がなくなるから、妻のやることに手を貸したくともできないってこともあるよな。

木村 うちらはだんだん専門バカみたいになつてきたの。若い時より魅力がなくなつてきた。若い時のほうが脱サラ的なところがあつておもしろかつたのに。

司会 そうなると、妻がいろんな会合などに出て生き生きし、むしろかしこい本を読んだり、理路整然と自分の考えを述べたりするとおもしろくない。

## 男を測るモノサシをまちがえたか

司会 妻のほうにサメてるといふか、男に理解のある（？）発言が続いたけど、結局、こういう夫を選んだのは自分たちだという反省（？）が、〈へあごら〉に集まるような人たちにはあるわけよね。

木村 青木さんのように、「結婚の時点で間違つていた」と思う人は多いわね。

司会 どのへんで、どんなことを間違つたのか…（笑）。

青木 まず結婚年齢ね。適齢期なるものに追いまくられて、結婚やその先の生活の意味するものを正確に把握することもなく、ソワソワと結婚しちゃう。

木村 社会体制に疑問を持ち始め、夫の生き方にも批判の目を向けると夫は落ちつきを失う。何にも考えないでもええわ、わからんでもええわ、家の中のことだけせつせとからだ動かして「うちのお父ちゃんはいいいわあ」（笑）言つてぶら下がつていてほしい…。

青木 基本的に、日本の主婦は、自分の人生を生きているというより、男の人生の余りを生きていることがあるでしよう。だから、その男がみじめだと、妻はみじめどころの話じゃない…。

石井 といって、その男が自分の生きたいように生きてるかっていへば、やっぱりがんじがらめになつてゐるでね。私、肋骨折られたり、死のうかまで思ったけど、考えると相手もかわいそうだよね。世間、世間、と世間に縛られて、外でははめられ者だで、うちで爆発させるわけだでエ…。

井上 結婚するまでは、今は比較的自由に自分の人生を設計できるからその先もそうだと甘く考えちゃう。ところがそれ以降は夫によって決まつてしまふ。

青木 結婚するときに、まず経済の安定した人とか、そういう外的な、どうにでもなることを重視した間だと思つてます。私自身が人間として未成熟だったという事です。自分自身の生き方を見定めていたら、それに付随するものとして夫の条件を考えられたのだ…と。

寺田 男の価値を計るモノサシが間違つてた。ふつと一番使われるのは「経済

的安定」でしょう。女のほうに「永久就職」という考えがどうしてもある。私もそうだったから、今になって「女のくせに黙れ」。『へあごろ』をやめろ。家庭のこともロクにできないのに、女の解放だなんておかしい」って言われる…。

## 男の生きざまは『秋の空』

井上 私はモノサシはそんなに間違っていないかったつもりだけど、男って変わりますからね(笑)。初めは向こうは大学生でしたから私は教師をして、ちょうど天野先生のお宅のように、私は名古屋、向こうは東京の大学ですから汽車で往復、その汽車賃は私が払う、夫は汽車の中で卒論を書くなんて暮らし。お使いや子供の面倒もいとわず、むしろ私中心の生活だったんです。それが大学出て、個人会社の経営をするような地位になると、だんだん変わってきたんです。タチマエ

としては「女も一個の人格である。才能はほとんど伸ばすべきである」とか、「いつまでもこんなこと(家事・育児)やらせてすまん」とか。でも現実の生活の中では、家事・育児はもちろんかえりみないし、帰宅したときに私が仕事してたり外出しようものなら、怒りはしないんですが悪いんです。こんなにも男は変わってしまった(笑)。

だからちょっと、どういう人なら夫としていいか私にはわからないんです。司会 出発点で奥さんの世話になっていて。肩身が狭い。少しでも早く挽回しようってことかしら？

寺田 いまの人間関係が経済力を中心に

天野 その点では私は経済のことに無頓着だったのがよかったのかもしれないね。結婚したとき夫が持ってきたのは段ボールにいっぱいの本と、同じ大きさの箱にいっぱい麻雀のバイ(笑)。

しているからじゃない？ 男は「養ってやってる」、女は「養われてる」という形で。潜在意識的にかたくなな図式があって、それが男も女も自分を削り取って…。

遠藤 「養ってやってる」と思うから「何時に帰る」とも言わない。私が出かけようとする「何時に帰る？」(笑)。こっちは言った時間より十分でも早く帰

## 女も結婚すりゃトクなハズだデ

司会 天野先生は若い人にどんなアドバイスをなさいますか？

天野 学生にはこんなふうに言ってます。「貧しい結婚をすすめる」と。経済的に安定した男とは結婚するな。親たちがお膳立てしてくれて結婚するなんていうんじゃないで、自分で見きわめなさい。経済的にも人格的にもまだ確立していない同士が、お互いに少しずつ進んでいくのがいんじゃないかしら。ゼロから二人でつくっていくほうが、あなた方の主権が生きているよって。

司会 二人でつくるといことができれば一番理想的ね。男が変わるという話が出たけど、それは女が怠慢だったという

らなくちゃと思って、どんなことがあっても帰る。向こうは「ちょっと…」が、一時やら二時やら三時やら…(爆笑)。木村 井上さんの「男は変わる」って話だけど、やっぱり長期展望が甘かったんじゃない？ 変わるということも考えて予測しなくちゃ(笑)。

司会 といいて、コンピューター使ってというわけにもいかないし…(爆笑)。木村 『へあごろ』の十一号の座談会で、お茶大の吉田先生がおっしゃってましたね。「どうして女はあんなに鈍感なのか、在学中から差別に気がつかないのか」。って。高校・大学といった、一番自分自身の生き方を考えるときに、どうして「自分はこう生きる」ということをビシッと考えておかなかったのか、いま歯ぎしりするくらいやすいですね。

面もあるんじゃない？ つまり男を悪化させない努力をしなかったということ。木村 それは私なんか、いま痛切に感じてることよ。ガマンガマン、黙ってればいつかは至誠天に通ずると思ってた。だけど、黙っていて通じるのは、相手が聖人君子の場合だけ…(笑)。

石井 男はけしからん結婚するわねえ。「食事の仕度が面倒になったから」とか「腰をすえて仕事するから」とか。つまり、結婚しても自分の生活はちいっとも変わらん、必ず良くなると思ってるわねえ。女も、「自分のしたいことやりたいデ結婚します」言うようにならなきゃい

かんわ(爆笑)。

司会 広瀬さんは、共働きやめて後悔してる、という感じの発言でしたね。広瀬 やっぱり働き続けてこそ自分も変わる、夫も変わる、自分と夫との関係も変わる…と思いますね。

青木 それは経済的自立があるからという意味？

広瀬 私は経済的なもの以上に、精神の自立が大きいと思います。たまたま私は専門職で、職場では一個の人格として評価された。それが自分の成長にとっても大きなプラスになった。

井上 共働きしている間は、まるでからだとかちぎれそうで、早く専業主婦になりたいと思ったけど、主婦は決して一個の人格としては評価されないですね。

広瀬 広瀬さんのような恵まれた職場は少なく、生産性向上、経済至上主義社会の物理的エネルギーの中でもみくちゃにされる。もみくちゃにされないまでも歯車の一つに組込まれて動きがとれなくなる。遠藤 教養を身につける余裕さえなくなっちゃうもの…。

広瀬 だからといって、誰かが言ったように「男の余りものの暮らし」の中に閉じこもっていたのでは、絶対に解決はできないわよ。

寺田 最近、生き方変えようと思って外へ出たんです。朝出るのが七時四十分、戻るのが六時半。帰ってみると洗いおけの中に、けさのまんまの状態で食器が入ってるでしょう。その冷たい水に手を突っこむところから始めなきゃならない。でも、やめると、子供に「一旦始めたこ

とは続けなさい」とは言えなくなるから絶対やめられない。男の人の勤めの三倍ぐらいいは覚悟がいらると思ひます。

えられない。どんなに状況が厳しくても、それはねのけていけるだけの強い自分は、やっぱり冷たい水の中から生まれるんじゃないかしら。

## ムダを承知で話してみるかのう

司会 ここ一つ考えたいんだけど、寺田さんはなぜ男の三倍の苦勞を覚悟しなくちゃならないの？ なぜ帰って来たとき朝の食器がそのままになってるの？

の顔をうかがって家事を完ぺきにしている人が多いわね。だけど、いくら外で地位向上を叫んでも、家庭の中の夫との関係が昔ながらのものだったら、かえってむなしいわねえ。

遠藤 女は家事をどんな場合にもやらなくちゃ、という社会通念があるでしょう。広瀬へあごろ十一号「女と教育」の特集で、私たち教科書チェックして驚いたんだけど、教科書に出てくるお母さんは必ずエプロンかけてかいがいしく働いてる。」「女は家事と育児をするもの」と学校で教えるのですもの。

木村 それそれ、そこよ。私もやっと今ごろ気がついたの。長い間、夫に対して実に怠慢だったと。まめまめしく身辺の世話をする代わりに、なぜ自分の正直な気持ちを話してこなかったのだろうと。

石井 家庭科で女が料理つくってる間に男は脚立なんかつくるがね。あれも問題だ。」「私、自分の夫を育てた姑を恨めしいと思うことがあるわね。なぜ靴一足みがけないのか、ボタン一つつけれられないのか。」「母親の羽の下から出られないように出られないようにして来た。だから精神的にも実に甘ん坊。自分の子供だけはこんなふうには育てたくない。」「

藤原 話せばどうせケンカになるし、活動をやめると言われたりしたらヤブ蛇になるで。」「と思うでね、よう話さんわ。木村 だけどわかりあうことの手はじめは、やっぱり話し合うことでしょう。ふきげんになるかもしれないし、理解してもらえないかもしれない。でも、話さなかったら永遠に希望がない。

夫に対して自分が何をしたいかを考えているかを話していくことは、夫に少なくとも妻の現状を知らせることにはなるでしょう。

青木、そうよね。こうして話し合うだけでも、いろんなことがわかってくるものね。わからず屋はうちだけだと思ひ、ほかの人たちは思われた家庭で何の問題もなくのびのびと自分のしたいことをしていると。」「その内外両面の圧力に耐えきれなくなつて、もうへあごろ」の活

動もやめようかと思つてたけど、自分の家庭生活をぶちまけて話し合うと、理想的な状況の中にいる人はほとんどいないのね。それぞれ夫の無理解や「やめろ」という声の中で踏みとどまってが

木村 自分の身近な夫や肉親を変えていくことぐらいいむずかしいことはないとは思ひけど、そこから始めなくてはね。

広瀬 いかに至難であるかの例として、毛沢東と江青夫人があるけど(爆笑)。

司会 いろいろと話を聞いてると、夫の「目覚め度」というか、妻の「自由度」というか、それにはかなり程度の差はあ

るようだけど、どこの夫もよく似てゐるね。夫と私たちは、共通の基盤がほんとうに全然ないのかしら？ 夫たちの現状と現実をもう一度考えて話してみるのもむだではないと思ひけど。夫に自分自身のことを語り続け、その一方では夫たちが背負っているもろもろの重圧の底にあるものを見つめ直してみない？

遠藤 それ私たちが夫を語ったことによつてワンステップ前進する一つの手段になると思ひわね。」「夫に語り続けた結果の(夫)について」を今年の忘年会のテーマにしましょう。今度はビールを一ダース飲んで：(一同爆笑)。

(まとめ 伊藤汎美)

資料に基づいて考える  
婦人問題総合誌「あごろ」

1号 女が働くこと ￥200 千200  
2号 女性の進出のために ￥200 千200  
3号 主婦の解放 ￥200 千200  
4号 何かしたい主婦 ￥300 千200  
5号 運動を進めよう ￥350 千200  
6号 産む性としての女 ￥380 千200  
7号 働く女と主婦の接点 ￥430 千200  
8号 女と法 ￥700 千300  
9号 女と教育 ￥750 千300  
10号 国際婦人年世界会議 ￥750 千300  
11号 国際婦人年国内会議 ￥750 千300  
12号 女性の記録 ￥750 千300  
13号 職場の中の女性差別 ￥750 千300  
14号 女と結婚 (近刊) ￥750 千300

16号 女と結婚 近刊！

¥150/送料も ¥210。残部あります。編集部宛てに切手でお申し込みください。

創刊！

あごろ 創刊！  
¥150/送料も ¥210。残部あります。編集部宛てに切手でお申し込みください。

創刊号 沖縄・渡久地真理子さん(撮影・松本隆子)  
「快談・性談」77マンリブ・ウーマンリブ  
これだけは言いたい！ 渾身の生活誌 野本三吉  
これから・その後・ポスト・311 女性史料資料館  
「伝説」お金の出ても伝説の伝説  
「伝説」初任給格差とたたかう 高橋悦子  
「伝説」風の雨が聞こえる・川のなない街で・愛と運動  
「伝説」抱いて抱かれたがる日本の男・イアン・ブルマ  
「伝説」シリアーズ・やさしい言葉！ せがわ・ともこ  
「伝説」七六二一・七六二一・七六二一  
「伝説」女のついで・女のついで・女のついで  
「伝説」あごろ可能性調査 第二期は三月スタート

あごろ 16号・女と結婚 近刊！  
(¥750/年会費4,000円)も一緒にご愛読ください。  
あごろ編集部

るようだけど、どこの夫もよく似てゐるね。夫と私たちは、共通の基盤がほんとうに全然ないのかしら？ 夫たちの現状と現実をもう一度考えて話してみるのもむだではないと思ひけど。夫に自分自身のことを語り続け、その一方では夫たちが背負っているもろもろの重圧の底にあるものを見つめ直してみない？

遠藤 それ私たちが夫を語ったことによつてワンステップ前進する一つの手段になると思ひわね。」「夫に語り続けた結果の(夫)について」を今年の忘年会のテーマにしましょう。今度はビールを一ダース飲んで：(一同爆笑)。

(まとめ 伊藤汎美)

怒れる女たちは集まった!

司法界の女性差別を告発する集会

1・9

会場、千駄ヶ谷区民会館に少し遅れて駆けつける  
と、場内はすでに約二百人の参加者で満員だった。  
壇上の四人のパネラーの三番目、松岡弁護士が事件  
の背景にある法曹界の体質、A B C Dに出世の道が  
ランクされ、庶民の感覚に立った発言をするとなら  
まちDランク、ドサ回りとなる現実を告発、法律上  
と社会的発展の二重の意味でゆるせないと論理整然  
と述べると、盛んな拍手が起きた。続く吉武輝子さ  
んは「怒り心頭に発した」と卒直なアピール。「な  
ぜ女だけが、有能であること、を必須条件とされる  
のか」と、例のパンチのある語調でたたみかけると  
会場いっぱい合いづちのうなずき。

ここでパネラーへの質疑応答。新自由クラブの刀  
弥館議員に専らほこ先が向けられる。「差別はいけ  
ないが区別は必要」とは何ごとか。「男女混浴はて  
きないが風呂に入るのはどちらが先でもよいといっ  
たこと」、「差別は命の値段に差をつけることではな  
いか」と女たちは答弁をさらに追究する。また「思  
想では裁けない」という菊本弁護士の発言には「女  
だという存在自体で裁かれているではないか」と、  
鋭い声。「男が生命をかける司法界に女の進出を許  
してなるものか」「女は司法修習で得た能力を家庭  
に入って腐らせるがよい」等々、ゆるしがたい発言  
が、国民の生命の根幹を守る現役の司法官からされ  
たことに對する怒りは尋常なことでは鎮まりそうに  
ない。しかも彼らは「法」によってその身分を固く  
守られている。罷免訴訟裁判に勝つはか方法はない  
のだ。「四人が不適格だということについては全員一  
致した、訴追委に決議文を提出しよう」と衆議一決  
ようやく散会した。

追究された刀弥館議員が、「この会に出て自分の  
内なる差別に気がついた」と告白したとき起こった

拍手。それは、このような集会在女だけのものではあ  
っては解決への道が遠いことの示唆でもあったよう  
だ。(さ)

エリート女性よ先頭に立って!

日本有職婦人クラブ 研究発表会  
全国連合会(BPW)

2・6

毎年統一テーマを決めて研究を続けているBPW  
の発表会が、川口市友愛センターで行なわれると聞  
いて、日曜をつぶして出かけてみた。

ことしのテーマは「働く女性の中・高年からの生活  
設計」。全国二十のクラブ中、十四のクラブの代表  
の発表内容は、地域での調査結果や発表者の私見な  
どさまざまだったが、多くは働く女性の労働条件を  
反映して、「ペラ色の未来像」ではなく、むしろ老  
後に不安を抱きながらも、きょう現在を働き続ける  
だけで精一杯だという現状を浮き彫りにしたものだ  
った。

男性以上のノルマをこなしてやっと一人前と認め  
られても、女性として失ったものが大きかったのて  
はなかったか。寿命さえ縮めたのでは。お茶くみ、  
雑用に耐えさえすれば、などの言葉は、戦後の女性  
の進出を自らの手と足で切開いて来た人々の言であ  
るだけに痛切だった。が、全体としては現状報告で  
終始した感があり、大阪のミッド社会館で実践活動  
を続けている岡本さんの「高齢化社会の今、婦人は  
仕事を持つのが当然の傾向がある。地域でのコミュ  
ニティケアを育て、中高年女性の力を向上させよう」  
という発言が最も説得力があった。

日本の婦人団体の中でも博識あるそうとうたるメ  
ンバーで構成されているBPWが、エリート女性の  
サロン集団と化さないためにも、実践に根ざした研  
究発表を続けてほしいと強く思った。(と)

筑紫に考える女たちのつとめ発足

くあごら九州> スタート

1・28

雑誌「くあごら」を通じてだけの関わりでなくて、  
「くあごら」の読者たちが顔を合わせ、直接話し合っ  
ていきたい。——地方に住む会員の願いから、思い  
きって「くあごら九州」を呼びかけてみました。

第一回は連絡が急なせいもあり、出席者はわずか  
六名でしたが、博多都ホテル二階ティールラウンジで  
初顔合わせ、とにかくうぶ声をあげることができま  
した。

四十代の主婦から二十代の会社員まで、それぞれ  
自己紹介「くあごら」への関わりなどが語られたあと  
今後のこととして次の三つが確認されました。

①「くあごら」の読者を広げるため各自が周囲に働き  
かけること。

② 出席できなかった他の会員のプロフィールや考  
えを知るために簡単なアンケートを出すこと。

③ 月一回例会を開いていくこと。

そして、次回は三月二十六日(土)、福田光子さん  
宅で開かれることになりました。福田さんは同会図  
書館でも抜群の司書として多年活躍された方。今後、  
合評会などの指導者としてすばらしい力を発揮して  
下さることと、うれしくてたまりません。

とりあえず第二回のテーマは「私とくあごら」。

「くあごら」に関することだけでも日頃の思いをいろ  
いろと語り合えたらと思っています。その中で、今  
後の例会のあり方や方向性がはつきりしてくると思  
います。私自身、駆け出しのOLで、「呼びかけ」  
などおこがましい気がしていたのですが、当日来ら  
れなかった方々から、さっそく電話や手紙をいただ  
き、やっぱり呼びかけてよかったな、と思っていま  
す。その後新しい問い合わせもあり、手持ちの「くあご  
ら」を持って、説明に走り回っています。(小島豊子)

# 資料 国内行動計画

昭和52年1月27日本部決定 同年2月1日閣議録承

## まえがき

政府は、昭和五〇年九月二三日、閣議決定をもって内閣総理大臣を本部長とする婦人問題企画推進本部を設置し、国際婦人年世界会議における決定事項の国内施策への取入れその他婦人に関する施策の総合的かつ効果的な推進を図ることとした。

そのため、婦人問題企画推進本部において、今後一〇年間の展望に立って、我が国における婦人問題についての目標と課題を明らかにし、これに沿って施策を展開するための計画を策定することとし、五一年四月、その主な事項をとりまとめた国内行動計画概要を発表し、これをもとに各方面の意見を聴取した。また、内閣総理大臣から依頼を受けた民間有識者よりなる婦人問題企画推進会議における意見、関係省庁の審議会における関連事項についての意見等を参考としつつ、国内行動計画を策定した。

婦人問題企画推進本部は、この国内行動計画の目標達成のための施策を着実に推進し、国民各層とともに、婦人の地位と福祉の向上に努め、もって社会全体の進歩と発展を促すことを期するものである。

昭和五二年一月 婦人問題企画推進本部

## I 基本的考え方

一 我が国においては、戦後、日本国憲法の制定とそれに伴う諸制度の改革や産業、経済の発展、科学技術の進歩によって、国民の生活や意識は大きく変わった。

特に、個人の尊重と法の下での男女平等が憲法の定める基本的原理として保障され、これに基づいて諸法令が制定、施行されたことによって、婦人の法的地位は、抜本的に改められ、向上した。

また、近年の経済社会の発展と変容は、婦人の生活に大きな変化をもたらした。すなわち、平均寿命の伸長、出生率の低下と婦人の出産期の短縮、教育水準の向上、家庭生活の変化、余暇時間の増加等によって、婦人の生涯の展望は全く新しいものととなり、職業を始めさまざまな社会的活動に従事する婦人やそれを求める婦人が増加している。

二 今日、婦人は、国民生活の諸分野において大きな役割を果

たしているが、婦人の生活に生じたこのような変化は、また、社会的に広く認識されているとはいえず、新しい変化に応じて婦人の能力や活動力を全面的にいかすような個人や社会の対応も決して十分とはいえない。

すなわち、婦人の能力、適性に対する偏見や固定的な男女の役割分担意識がまだ根強く、このことが幼児期からのしつけを始め、教育、職業の選択等、生涯の生き方についての重要な決定に影響を与え、婦人自身の意識や行動を消極的なものにし、権利や機会の活用を十分なものにしていない。また、職業を始め、婦人の社会的活動は非常に拡大したが、職場には男女の不平等が依然として残存し、政策や方針の決定への婦人の参画も、地方公共団体、企業、民間団体、国際分野を通じて低調であるといえよう。就業する婦人の大半を占める既婚婦人は、職業生産活動と家庭生活との責任の調和についてさまざまな問題に直面しているが、それを円滑にするための家庭や社会の条件整備は必ずしも十分ではなく、また、生活に欠くことのできない家事活動や家業への寄与が正しく評価されているとはいえない。さらに、我が国の諸法は、男女平等を原則とするが、実際に平等を確保する上で不備な点があることは否めず、一方、現行の婦人に特殊な保護の措置についても、時代の変化に照らして改めるべき点がないとはいえない。

三 婦人が生涯の生き方を主体性をもって選択、設計し、その個性と能力を自己の実現と社会の進歩のために生かすことは、婦人自身の人格の発展のもとより、国民全体の福祉の向上にとって欠くことのできなないものである。このため、まず、主体性を確立し、機会と責任の平等を現実のものとするための婦人自身の不断の努力が要請される。

同時に、今後の我が国においては、国民一人一人の生活の安定と向上、能力の開発と発揮、生きがいの充足、完全雇用の達成、維持、分配の公正等人間の尊重と生活の質の向上の見地に立った政策目標が益々重視されるが、このような目標を達成しようとするすべての政策は、男女両性に等しく配慮し、その必要にこたえるものでなければならぬ。また、人口の急速な高齢化等社会構造の変化に対応して、生活の充実とこれを支える経済的社会的基盤の形成を図ることが重要な課題となっている今日、これらの施策の遂行に当たって、男性と同様、婦人の十分な参加と協力が必要であることはいうまでもない。

四 国際連合憲章、婦人に対する差別撤廃宣言をはじめ、各種の国際的条約、勧告、計画等は、一國の全面的な発展及び世界の福祉、平和のために、女性が男性と同様にあらゆる分野に最大限に参加することが必要であり、すべての人は差別されることなく社会的、経済的進歩の成果を享受する権利を有し、同時にこのような進歩に貢献すべきであるとの趣旨を宣明している。

一九七五年、国際婦人年世界会議が採択した世界行動計画は、

このことを一層時代にふさわしい形で実現することを目的として、今後一〇年間にわたる各国の政策に指針を与えている。また、国際連合は、一九七六年から一九八五年までを「国際婦人の一〇年」と宣言し、平等、発展、平和ということ国際婦人年達成のために世界全体として努力することとしている。

五 国内行動計画は、憲法の定める男女平等の原則及び世界行動計画を始めとする国際文書の趣旨に基づき、政治、教育、労働、健康、家族生活等に関して憲法が保障する一切の国民的権利を婦人が実際に男性と等しく享受し、かつ、国民生活のあらゆる領域に男女両性がともに参加、貢献することが必要であるという基本的考え方に立って、それを可能とする社会環境を形成することを体系的な目標とする。

この目標を達成するため、次のことを計画の課題とし、今後一〇年間にわたって総合的な施策を展開することとする。

- (1) 法制上の婦人の地位の向上
- (2) 男女平等を基本とするあらゆる分野への婦人の参加の促進
- (3) 母性の尊重及び健康の擁護
- (4) 老後等における生活の安定の確保
- (5) 国際協力の推進

六 なお、施策の推進に当たっては、我が国の歴史的、社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の婦人、その他低所得状況に置かれている婦人が、すべての基本的人権の享有を実質的に保障されるよう、その地位の改善に十分留意することが必要である。

七 婦人の問題は、国民生活のあらゆる領域に内在し、しかも、人間の日常生活に根ざした多くの課題を含んでいる。その解決のためには、政府施策の果たすべき役割に加えて、国民各層に期待されるべき役割が少なくない。このため、この計画の目標達成に向かってすべての公的機関、民間機関、団体及び国民全体がそれぞれの分野において、自主的な目標を定め、活動を展開することを期待するとともに、とりわけ、婦人一人一人が自らの生涯の展望の下に、その可能性を最大限にいかすため、積極的に行動することを期待する。

## II 施策の基本的方向とその展開

### 一 法制上の婦人の地位の向上

憲法に定める男女平等の原則を一層徹底させ、かつ婦人の地位の實質的向上を図るため、時代の変化に即して、常に諸法制を見直し、その再検討を行う。

家庭生活の健全な維持に対する婦人の寄与と家業における婦人の労働の経済的価値を法律上も正しく評価するため、引き続き、民法等関係法令の再検討を行うとともに、法的に認められた諸権利が確実に容易に実現されるような制度ないし手続き



の整備について所要の改正を検討する。また、雇用、職業における男女平等の確保のための婦人労働関係法令、その他広く各種法令上の問題点について検討を行う。

## 二 男女平等を基本とするあらゆる分野への婦人の参加の促進

婦人が、その主目的の選択によって、政治、経済、社会、文化のあらゆる分野に参加する機会を持ち得るよう、固定的な男女の役割分担意識を見直すとともに、婦人に対する不平等な慣行を是正し、婦人が多面的な責任を調和させつつ、その能力を十分に発揮することができるよう社会環境を整備する。

### (一) 政策決定への参加

国、地方公共団体、企業、民間団体等における政策、方針の決定への婦人の参加を促進する。

そのため審議会等への婦人の登用を積極的に行うとともに、公務員については、婦人の登用等について十分配慮する。また、公的機関、企業、民間団体等の政策、方針の決定について、婦人が積極的な役割を果たすことができるよう気運の醸成を図る。

### (二) 教育訓練の充実

従来の男女の役割分担意識にとられない教育、訓練を推進するとともに、婦人の生涯の展望を踏まえた教育、訓練の機会の拡充、施設の整備等の施策を推進する。その際、社会参加を希望する婦人の再教育、再訓練について配慮する。

ア 学校教育においては、男女の平等及び相互の協力、理解についての学習を教育活動全体を通じて充実するよう、教育課程の編成及び学校運営の面で一層配慮する。特に、各学校における社会科、家庭科等関連教科及び道徳等において新しい時代に即応した学習指導が行われるよう配慮する。

家庭教育においては、男女の平等及び相互の協力、理解、子どもの進路、家庭生活のあり方等について、一層配慮するため、両親等の家庭教育に関する学習機会の拡充を図る。

また、社会教育においては、青少年及び成年男女が、婦人問題、家庭生活等に関する学習を活発に行うよう学習機会の拡充を図る。

イ 生涯の各時期における婦人の多様な学習意欲にこたえ得る学習の場の整備、情報提供、指導者の育成確保を図る。地域においては、婦人学級、家庭教育学級、高齢者教室、消費生活に関する講座等の婦人が当面する生産課題に関する学習機会を拡充するとともに、婦人団体の自主的学習活動を奨励するため必要な援助を行う。また、婦人教育活動の充実を図るため、国立婦人教育会館（仮称）を拠点として、全国的規模で指導者研修、国内・国際交流、情報提供の事業等を行うとともに、地域においては、婦人会館、公民館等の整備を促す。

さらに、婦人が職場や家庭で働きながら、高等教育、専門教育の機会を享受することができるよう、放送大学の計画を進める

とともに、大学開放講座の拡充、専修学校の一層の振興等に努める。また、高等教育機関の間の単位の相互認定、累積加算制度を検討するなど、大学教育を弾力化する方策について検討する。

ウ 婦人が若年時から正しい職業観を養い、生涯展望に立った職業選択を行うことができるよう、各種の教育、訓練において配慮する。また、個人の適性に応じて多様な分野で能力を発揮しうるよう幅広い教育、訓練を受けることを奨励するとともに、職業情報の積極的提供、職業指導の充実を図る。

また、出産・育児期を経て中年期の再就職を求める婦人のため、職業歴や家庭生活との調和を考慮した職業選択、職業訓練についての相談体制の整備、訓練職種の開発・設定、訓練技法の改善等を進める。なお、看護職員の一層の資質向上と専門職としての確立に資するため、看護研修センター（仮称）の設置、卒後研修の一層の充実を図るほか、潜在看護力活用のため、ナースバンクの充実等の施策を推進する。

### (三) 雇用における条件整備

雇用における機会と待遇の男女平等を確保するため、その阻害要因の除去等必要な施策を推進するとともに、婦人の職域の拡大と就労条件の整備を図る。

ア 職業生活のあらゆる領域で男女が平等の機会と待遇を得られるよう、雇用制度、慣行の改善に努める。特に、労働基準法に定める男女の同一労働における同一賃金の原則をさらに徹底させるとともに、若年定年制、結婚・妊娠・出産退職制等の差別的制度については、指導計画を樹立する等、早急な是正を図る。

また、使用者に対して、採用、職場配置、研修訓練、昇進昇格等において、婦人に男性と同等の機会と待遇を与えるよう、雇用管理の積極的改善を促すとともに、労使に対する相談体制の充実を図る。

イ 雇用における男女平等を徹底するためには、男女が同じ基盤で就労できることが前提条件となるので、現在婦人に対して行われている法制上の特別措置について、その合理的範囲を検討し、科学的根拠が認められず男女平等の支障となるようなものの解消を図る。

ウ 婦人が従来のいわゆる女子向き職種という固定観念にとらわれず能力・個性に応じて専門的技術的職業その他幅広い職業分野へ進出するとともに、自ら能力の開発に努め、職場における婦人の地位の向上を図るよう啓発する。また、使用者が職場の条件を整備し、婦人の能力を広く活用するよう奨励する。公務員については、女子の受験制限職種の見直しを行うなど、その職域全般に進出することを可能とするための条件整備に努める。

エ パートタイマーの労働条件の整備、雇用管理の改善等について必要な指導を行うほか、低賃金労働者の賃金の改善を図るため、最低賃金制の推進を図る。

### 四 農山漁村における条件整備

農山漁村婦人の生産活動への参加の著しい伸展に即応して、生

産と生活の向上及びその調和を図るための施策を拡充する。

ア 婦人の生産活動の質的向上を図るため、農業経営、農業技術等についての普及教育訓練を、婦人の身体的条件に配慮しつつその能力を生かすよう推進する。

イ 農山漁村生活の質的向上を図るため、家庭経営、生活技術、生活環境改善等生活全般についての普及教育訓練を地域の実情に即して推進するとともに、その一環として、婦人の状況の改善に関する情報の提供・交換、自主的グループの育成、国際交流活動の促進を図る。また、農村計画等地域社会活動への婦人の参加を促すため、意識の啓発、コミュニティ施設、高齢者の文化活動施設等の整備、活用等によってその活発化を図る。さらに、農山漁村における健康生活指導を充実するとともに、特に婦人の過重労働を解消するため、家事労働の合理化、農作業条件等の改善を進める。

ウ これらの施策の円滑な実施のため、十分な指導を行う必要の生活改善普及職員を配置する。また、その資質の向上、機動力等の強化、市町村等との連携の強化による活動の効率化を図るほか、生活技術の開発を行う。

### 四 家内労働、自営業における条件整備

家内労働や自営業に従事する婦人の就労条件の整備を図る。

ア 家内労働者の就労条件の向上を図るため、最低賃金の決定をはじめ家内労働手帳の普及、安全衛生の確保に努めるとともに、内職就業に必要な相談、斡旋等の対策を推進する。

イ 自営業に従事する婦人に関して、職業、健康その他生活に必要な知識・技能の向上、家事負担の軽減等に必要施策の拡充を図る。

### (六) 市民活動への参加

社会的連帯と相互援助の精神に基づいて行われる各種の市民的活動は、国民の自由と自主性にゆだねられる領域であるが、行政の面からも特にコミュニティ等における婦人の活動領域の拡大を図ることはじめ、広範な公的活動、団体活動等への婦人の参加の促進に関する施策を推進する。

ア 社会福祉、社会教育等、地域社会生活の向上のために行われる自主的活動への婦人の参加を奨励し、社会奉仕活動センター、ボランティア育成講座に対する助成等を通じてその振興を図るとともに、法律等に基づいて任命・委嘱される委員、相談員等公的活動の遂行に当たる各種の公職への婦人の参加を促進する。また、消費者運動の中核となる各種消費者団体の諸活動に対し、積極的に支援するとともに、消費者問題解決のための活動への婦人の一層の寄与と男性の参加、協力を促す。

イ コミュニティ施設の整備、運営に当たっては、これが婦人のニードに対応したものとなるよう留意するとともに、婦人が健全なコミュニティの形成に参画、寄与しうるような方策を検討する。

（以下次号に掲載）



# 読む

## 雑誌「わいふ」特集 主婦とウーマンリブ

これが出たあと、編集部にもモンクが舞込んだそうだ。「わいふ」の正体ついに現れた。やっぱりリブね」と。この強固な主婦のリブ偏見と戦おうと、百二十度も角度を開いている。座談会・ウーマンリブへの疑問／実践報告リブ運動の中から／投稿主婦にとつてリブとは何かetc, etc 中でも壮烈なリブはあさんを姑に持った奥井登美子の体験記は最高／がしかし、「わいふ」たちはこの「わいふ」に怒るのぞ。怒られてもいい。まわりの「わいふ」にすすめてほしい。ぜひ読んでほしい。ざつり五十ページで三百円。安い／振替東京51110430わいふ編集部(R)

### 松枝茂夫訳

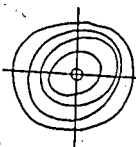
## 「ノラ」は家出してから どうなったか

魯迅のある文芸会での講演が「魯迅選集第5巻」に収められている。この内容はノルウエーの作家イブセンの有名な戯曲「人形の家」をふまえていることはいまでもないが、ただヒロインの「ノラ」を現実的な

差別とつきはなして論じるというのではなく、あくまでも、女性の真の解放はどのような方向にむかうべきかという実践的な発言である。

さてノラだが、魯迅によれば、家出したあと、何の生活手段もない女に残された道は墮落するか家に帰るしかない。ノラが墮落しないためには、経済の確立が必要である。そのためには自らを犠牲にしても、次代を担う子女を解放していかなければならない。さらに世界平和のために冥想するより、一人の隣人を助けることの方がよりむずかしいという。覚醒を叫び、そのあとの責任をとらない婦人解放論に対して魯迅は厳しい。生活から遊離した教養主義を脱皮し、日常の小さな仕事から手をつけなければいけないと思った。(岩波書店・魯迅選集第5巻収録)(仁)

## 見る



## 「ミューズカル」 女の解放「欲術記」 横山展子

欲術は誤植ではありません。当日受付けてもらったチラシに偽りなく、飲んでゲラゲラ笑いつつ同時にズーッと衝撃を受けたのです。狭い所に敷かれたゴザに座りこんでの観劇は、全身でぶつかって来る

彼女たちの迫力をまともに受けるに十分で、演者と観客ではなく、あの場に臨んだ全員が一体感を楽しんだと言っても過言ではないと思います。脚本、演出、演技等一切が素晴らしい。その底に有る「女の解放」を目指す熱意、誠意、真実がそうさせたものでしょう。ヒンデレラ・マリアントワネットたちのおおのの苦心の衣装も、商業演劇のお金をかけたものを越えた光を放ちました。出演者同士すれ違いの生活を持ちながらの不十分な稽古の由でしたが、少々のとちりやセリフ忘れには声援も飛び、かえってなごやかさを増す相乗剤となり、また元気の良いライندگانで舞台の小道具が倒れるたびに、子供が律気に直しに行くのも自然で微笑ましい限りで、笑いながら私は、いつしかブルースに手拍子を合わせていました。

紙数の都合で今回は内容に言及できませんが、セリフの一貫、歌の一句、足踏み、表情、身体の動きの一つ一つが、口頭が吐き出しきれずにいた、また口に出してもこれまで周りにいた人々の共感を得られなかったもので、年齢だけで言えば後輩であるたのしい同志の存在を目のあたりにし、心強い限りでした。

リブ新宿センター・ドテカボ一座による脚本、演出、出演。二〇のコメントを積み重ねた笑いと感動のミューズカルだった(詳しい内容について知りたい方はリブ新宿センターへ)

## 第一期CR

### ＜コンシヤスネス・レイジング＞

## 心を開く法に参加して

### ★「私」を知った

中村肇子

今まで「好奇心が強いから」と思ひこみ、いつも何かを求めて、その場その場の時を過ごしていた私。しかし何か物足りなさを感じていた私。疑問ばかりだった私……

CRに参加し、「私」を直接的、間接的に知る機会を得た。解決までとはいかないが、今後は何事に対しても自分の意志で、結果から逃げることをせず、積極的な人間になろうと決心しました。

### ★「憎い女」を追い出した 玉置優子

私にとって、女であるということとは甘えの代名詞でしかなかった。ただ微笑んでいれば強い男たちが私のすべての荷物を背負ってくれる。涙を流すとやさしくいたわってくれる。でも、微笑を拒み、怒りを知った女は、どのように男たちと闘って行くのか。一人の女の怒りが二人の怒り、三人の怒りとなり、それが多くの人をも動かす大きな力となる。ここに出会った女が、私の中で憎み続けてきた「女」を追い出してくれた。

### ★話し合えるようになった私

高橋芳恵

往復三時間を苦とも思わず、三か月間CRに通ってきた。その間、怒りと他を思いやる気持ちとに自分自身が注目してきたように思われる。所がまわず怒りを表出し相手の拒絶にあつて何度も絶句を繰返してきた私にとつて、相手の怒りと私の怒りを対峙させ分析し、いくらかでも話し合いを続行させていけるようになったと思われる。きびしさを伴う真のやさしさにも触れることができた。

### ★「オンナ」を知った 藤原悦子

自分がオンナであることを切り捨てて、オトコ社会の中で生きぬく以外、人間として生きるすべがないと考えていた私にとって、CRとの出会いは私の価値観を全く変化させてしまった。世代の異なるオンナたちの集りの中で、女の手による女性解放の本の中で、オンナの生きざまを知り、私は初めてオンナそのものを知り得たようである。捨てたものを拾い集め私自身のオンナをどう構成し直すか、それが今後の課題である。

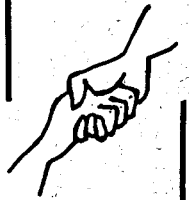
### ★落ちついた

大川和子

感受したものを表現することに抵抗の強い私が、ただ未知の人たちという人間関係の中で態度を少しずつ変えてみるように努力したほんの三か月の間に、違和感でぎくしゃくしていたものが、ほほしゅりと落ち

# これから・その後

AGORA MATE



AGORA MATE

「あこら北海道」呼びかけ人  
山口里子さん

「わたし、いよいよ行動を始める  
わよ」——これが、わが山口里子女士

史の第一声だった。〈あこら北海道〉が発足してから一年半、里子さんの力は大きい。  
感情論になりがちな話に理論の裏付けをしてくれる彼女、「国際婦人年をきっかけとして行動を起こす会」の会員でもある彼女、その意欲にはわれわれも奮発せざるを得ない。  
結婚をきっかけに、東京から札幌へ来られたのだが、再就職の困難さなどの不合理を体験する中で、女が一人の間であることへの希求を——  
層強めたそうだ。  
一女の母となり、岩見沢へ転居したこともあって、小中学生対象の英語塾を開設するため、ただいま準備中とか。  
確かに彼女の転居は痛手だが、〈あこら北海道〉として広がりを持つためには、意義があると言えるだろう。  
ようやく仕事を見出して張切っている里子さん、一緒に頑張りましょう！  
(あこら北海道 池田路子)

## 専門技術を持つ女性の職業あつせん機関

### 愛知県 婦人タレントコーナー

何かしたい。収入につながる社会参加をしたいと願う女は多い。また現在の勤めては能力を十分発揮できないとモモンとしてる人もいるだろう。しかし女子学生の就職さえむずかしい昨今、中・高・高・高生歴の女が満足できる仕事にありつくことはむずかしいと探す前にあきらめがちだが、あきらめる前に訪ねてみるところがある。

高い技術や専門知識、資格を持ちながら就職の機会に恵まれない女性のための職業紹介機関、「愛知県婦人労働室タレントセンター」がそれである。  
名古屋市鶴舞公園の近く、愛知県勤労会館の三階、観葉植物やゆつたりしたソファのある受付は職安の持つある種のみじめさは全くないサロンふうだ。〈タレントコーナー〉と書かれた受付のブザーを押すと担当員(男3女1)の一人がロビーのソファをすすめる。まず求職カードに、したい仕事

事や条件を細かく記入する。次に希望職種の人をカードを繰る。条件がかなりくわしく書き込まれている。希望の求人があると、センターから先方へすぐ電話連絡する。求職者が一人て先方へたずねて行くという側面ベイスに巻込まれがち。双方が日時を決めて第一回の話し合いをする。この「お見合」で脈がありそうだと、連れ立って先方の職場を見に行く。  
センターの担当員は県の職員で、相談は無料。カウンセラーや弁護士などの専門家にによる職業相談、各種の職業適性検査のほか、雇用情報、資格取得方法の情報提供が行なわれているほかテレホンサービスもあり、名古屋733

愛知県婦人タレントコーナーの窓口

項目	求職者数	求職者数	就職者数	主要職種別の求人倍率(求人/就職)														
				計	教員	医歯	農林	建設	製造	流通	サービス	情報	文芸	芸能	学芸	その他	学芸	その他
25未満	249	220	44	1.1	0.1	0.6	3.0	0.7	0.4	2.5	3.9	0.9	0.8					
25~29	151	193	22	0.8	-	0.3	5.0	0.8	0.2	2.3	1.4	0.5	0.3					
30~34	42	35	4	1.2	-	0.7	4.5	0.5	-	5.5	-	0.3	-					
35~39	37	45	10	0.8	-	0.3	3.0	-	-	1.0	-	-	-					
40~44	17	30	7	0.4	-	-	1.5	-	-	0.5	-	-	-					
45~49	5	15	1	0.3	-	-	3.0	-	-	0.2	-	-	-					
50以上	2	25	6	0.1	-	-	0.1	-	-	-	-	-	-					
計	503	563	94	0.4	0.07	0.4	2.4	0.7	0.3	1.7	1.9	0.6	0.5					

◆求職に対し、求人のない職種 — プログラム、医師、通訳  
婦人タレントセンター 昭和45年新設し、専門職を持つ人々を対象としている。

五十年度にここを訪れた人の内わけは別表のとおり。プログラマー、医師、通訳などは求職はあっても求人はないとのこと。〈女の専門職〉の実態がここにも示されている。またよりやすいのは看護婦、商業デザイナー、英語秘書、和英文タイピスト、簿記事務員、交換手、栄養士など。通勤距離、労働時間などなかなか合わないが、求職者の側に立ってお世話したい、と、伊藤壮一室長。  
婦人労働全般に基因する問題点はあるが、専門職あつせん機関は全国でも四十二年に開設された東京・飯田橋職安内の〈有能婦人センター〉と、四十五年に開かれたこの二か所だけ。とりま壁は厚いが、じつとしていともうにもならない。まず叩こう。さらば開かれるかもしれない。  
(ま)

クギに寸法があるように

印刷物で情報を伝える主人公は文字ですが、この文字にも、紙と同様、いろんなきまりがあります。

まず大きさが標準によつてきまつています。ちようど釘（くぎ）に一寸釘とか三寸釘があるように、印刷物の文字の大きさも、三号とか8ポとか、一定の規準で区切られた大きさがあります。

皆さん方は、8ポとか9ポとかいう名前には、どこかで耳にしたことがあると思います。

すが、一番よく使われているのが、8ポと9ポです。週刊誌や月刊誌などの雑誌の文字はふつう8ポが基準になっています。単行本は9ポがほとんどです。

ところで、少し敏感な方は、このへやさしい編集のページの文字がちよつと小さい目なのにお気づきになったと思います。これは7ポといつて、8ポのちようど八分の七の大きさです。一般の読者は、雑誌といえは8ポの大きさを見慣れていますし、へあごらミニの読者には年輩の方もいらつしやるので、本来ならあまり使いたくなかつたのですが、なにぶんにも全体が十六ペー

## やさしい編集2へあごら実務シリーズ



ジというミニ版、ちようどアパートのひと間暮らしといった感じなので、文字を小さ目にして内容を詰め込んだわけです。まあ団地サイズのたたみを使つたな、とても考えていただきました。

ポはポイントのポ

ところで、7ポとか8ポとか9ポとか、  
「ポ」というのは何でしょう。

正式には「ポイント」と言います。ポイントつて、英語ですか？ ご明答！ 英語です。活字の大きさがまちまちなのを何とか基準をつくらうと、一八八五年、アメリカの活字をつくる業者が集まつて、シカゴのあちこちをうろつていたパイカ活字の十

二分の一を一ポイントと決めたのです。基準が決まるといへん便利だということになり、イギリスをはじめいろいろな国で採用されました。

初号・一号・二号・三号

この「ポ」は「ポイント」に対し、一号とか二号とか五号とか、「号」という呼び方を耳にした方も多いと思います。これも活字の大きさの単位ですが、こちらは純日本式。本木昌造という人が考えたものです。「号」で呼ばれる活字の基準は五号です。いまは尺貫法で禁止されている日本の伝統的な寸法の基準、鯨尺の一分（一寸の十分の一）の大きさの活字が五号なのです。

頭のいいヒトはわかる話

さつき、7ポというのは8ポの八分の七の大きさだと言いましたが、それでは四号というのは五号の五分の四の大きさでしようか？ とんでもない！ 四号は五号より大きいのです。鯨尺でいうと四号は二・二五分、三号は一・五分。つまり号数では、小さい数ほど形が大きくなっています。

ここで少し頭のいい方は、先回りして考えたかもしれませんね。ハハ、じや二号は一・七五分だゾと。残念でした！ 号数活字は、〇・二五刻みに大きくなっているわけではありません。ポイントのような、単位。という考え方はないのです。それでは本木さんは何を基準にしたのでしょうか。各号の鯨尺の寸法と、ポイントに換算した大きさを書いておきます。ほんとうに頭のいいヒトは、きつとわかるでしょう。

初号 四 分 42ポ 一号 二 五分 27.5ポ  
二号 二 分 21ポ 三号 二 五分 16ポ  
四号 二 五分 13.75ポ 五号 二 分 10.5ポ  
六号 二 分 10.5ポ 六号 二 分 8ポ  
七号 二 分 5.25ポ 八号 二 分 4ポ

姿を消して来た号数活字

ところが号数だけでは、大きさが急に大きくなつたり小さくなつたりで、どうも不便です。そこで号数のほかに6ポ、7ポ、8ポ、9ポ、12ポなどのポイント活字を使つてしのいでいました。しかし最近では、号数活字とポイント活字の両方をそろえたのではたいへんだというので、ポイント一

本に切り換えた印刷所がふえてきました。そういう印刷所では、「ハイ四号ですね」とだまつて原稿を受取つて、だまつて14ポの活字を使っています。14ポと四号の差は〇・二五ポ。一ポイントは〇・三五一四ミリですから、その差はほとんど気にならないのです。

（せがわ・ともこ）

（6ポ） 文字の大きさを考える

（7ポ） 文字の大きさを考える

（8ポ） 文字の大きさを考える

（9ポ） 文字の大きさを考える

（5号） 文字の大きさを考える

（12ポ） 文字の大きさを考える

（4号） 文字の大きさを考える

（3号） 文字の大きさを考える

（2号） 文字の大きさを考える

（1号） 文字の大きさを考える

（初号） 文字の大きさを考える

# 切抜きから

1977. 1. 5  
1977. 2. 7

母子心中・子殺しセロ。  
生き生きた女の記事ばかり。  
その日を目指して切抜きます。

## 行動計画

「過保護」洗い直す行動計画

一日の閑談で「国内行動計画」が了承された。①各種審議会委員への婦人の登用②若年定年制、結婚・妊娠・出産退職制の是正、母性給付の引上げ③生理休暇の再検討、圧縮などを基調に、④法制上の婦人の地位の向上⑤あらゆる分野への婦人の参加促進⑥母性の尊重と健康の擁護⑦国際協力の推進をうたったもの。(2・1各紙)

婦人各団体行動計画に反発

「計画全体の基調が婦人の権利の側でなく経済開発のための能力活用にある」「世界行動計画で決められた雇用平等のための政府機関もない」「これはひどいとは思わなかった」と、各団体はカンカン。(2・1各紙)

婦人団体が抗議行動

「国内行動計画」に憤慨した婦人団体は一日午後、続々と抗議声明。各党婦人議員も藤田総務長官を突上げ「とりあえず中間撤廃を目指して組織づくりを呼

目標として五年計画をつくる」との言葉を吐いた。(2・2各紙)

男女平等を認めぬ福田さん  
施政演説の中で福田さんは婦人対策を長々と語ったが、中味は婦人の能力をしようとするだけ。特に婦人の労働権を無視した責任は大きい。

(市川房枝2・3朝日)

不平等撤廃は法的な措置を女性の労働権は生存権の一つだという「労働権の確立」が絶対必要だった。

(高野順子2・4朝日)

どうする「共修」否定の動き  
性別役割にとられない教育こそ最も重要なものに無視されている。(駒野陽子2・5朝日)

(清水澄子2・7朝日)

総花的な婦人問題施策  
多様な婦人問題を盛込もうとすると総花的になるだろうが、ポイントに婦人労働権の保障と男女の役割分担に置くべきだった。(2・7朝日社説)

(2・7朝日社説)

## 変わる・変える

女の太極で「地銀」誕生

昨年末、野村証券の中に、全国のベスト10にランクされる「地銀」が誕生。働くのは、累積投資募集員という約二千三百人のおばさんたち。

(1・7毎日)

障害児に保育の機会を

長野市の主婦の呼びかけで、障害児の親やボランティアが団結。「混合保育」の実現や差別撤廃を目指して組織づくりを呼

びかけている。(1・8信毎)

政策立案に女性も

地婦連・有職婦人クラブなど八つの婦人団体代表が首相に婦人の地位向上について要望。首相は「皆さんの意見を国政に反映させたい」と答えたにとどまり、具体的には答えず。

(1・9各紙)

ボランティアスクール開講  
長野県社協は来月初のボランティアスクールを開講、即戦力を養成。(1・23信毎)

保育料二・五倍に怒る

東京二十三区の保育料値上げに不服審査請求が北、板橋、練馬三区だけで五百三十件。全区に波及しそう。(1・25読売)

看護婦に夜間交通費を支給

看護婦の夜間看護手当の中に深夜通勤のためのタクシー代が加算された。五十二年度予算政府原案の中に確保すべく厚生省を動かした火つけ役は「看護婦のオヤジの会」。(1・30朝日)

(1・30朝日)

## 調査から

自ら望む一人暮らし

港区での老人調査(六十歳以上)で「老後は何が不安か」という問いに「病気や体の衰え」が六〇％。生活費を挙げたのは一〇％足らず。年をとっても働きたいと訴える人が目立った。

(1・6読売)

「最後の線まで」は六人に一人  
「婚前の女性は性交まで進んでよい」という答は、男子学生グループでは三五％。親世代では二五％だが、女子学生自身は一七％。田中靖政・学習院大教授の調査から。(1・7朝日)

(1・7朝日)

働く妻の離婚減る傾向

アメリカの場合も、共働きの方が育児や家事、夫の世話などがおろそかになり、離婚率が高いと思われており、最近の離婚の増加は働く女性が増えたためと結論する向きもあるが、カリフォルニア大学の社会学者エルウッド・カルソンが一九五〇年、六〇年、七〇年の国勢調査の雇用と結婚状態について調査した結果、離婚は仕事を持つ女性の場合、減少していることがわかった。(1・8朝日)

(1・8朝日)

新婚旅行、主導権は女性に  
九州が関西抜きトップに。費用は三十万円以内で、十組に一組は外国へ日本交通公社札幌支店の報告。(1・11北海道)

現代人の「あこがれの職業」

ベスト10は①一級建築士②機械工場の技師③牧場主④従業員三十人ぐらゐの会社社長⑤同千人ぐらゐの大会社の社長⑥同十人ぐらゐの町工場の工場主⑦普通の商店⑧大会社の課長⑨開業医⑩弁護士。特殊法人雇用促進事業団職業研究所の調査で。(1・11読売)

(1・11読売)

子供に多い動脈硬化  
厚生省研究班の初の全国的な調査によると、動脈硬化の目安になる血液中のコレステロール値が高すぎる子どもが全体の四一七％おり、研究班は「食事指導など本格的な対策が必要」といっている。(1・12朝日)

(1・12朝日)

減った「新成人」

総理府統計局によると、成人式を迎えた青年は、男子八十一万人、女子七十七万人。新成人がピークに達したのは、さる四十四年、四十五年の二百四十四万人で、その後は、ほぼ毎年減

少。(1・15読売)

継父でも子は満足  
家族として一緒に住む父親が血縁関係のない継父であっても親子の対立や衝突は少なく、子どものほとんどは幸福で満足している——とサンタ・バーバラのカリフォルニア大学の調査報告。母親が世帯主よりも、継父のいる方がうまくいっているという。(1・18朝日)

(1・18朝日)

成長ストップ東京っ子

東京都の学校保健統計調査で戦後、急成長を続けてきた「東京っ子」の体位は、身長、体重、胸囲とも全体に伸びが止まり、「女子十七歳」の胸囲は十年前よりも小さくなるなど。都教育庁では、深刻なショック。(1・21読売)

## 暮らし

信濃の女たち

「工女らと、処女会」づくり。女一人転向拒否・底辺の福祉を十七年・あんまで自立など、女の軌跡を追った連載二十一回。

(1・5・12・2信毎)

少女むしびむボロ  
「街頭ボロ」と異名のついた雑誌の自動販売機で買う少女がふえている。(1・7読売)

(1・7読売)

自転車放置は主婦が大半  
「自転車放置」に悩む小平市が同市内六駅に放置された自転車の実態調査をしたところ、目立ったのは、二、三十代の主婦のモラルの低下。わずかな距離でも歩こうとせずに自転車に寄りかまわずとめる傾向が。

(1・7毎日)

「無認可保育所」広がる底辺

美濃部知事の手で初めて行政の光をあびた無認可の保育所が、苦境に立たされている。表面的には保育の底が引き上げられたかに見えるが、助成金の対象にすらならない無認可保育所が増えているのが実体。目標は無認可保育所の解消であったはずなのに。(1・7毎日)

占い、今年も女性にブーム

街の運命判断の客の七―八割が女性。ヤングからミセスまで家庭の悩みが半数。

(1・12北海道)

福祉後退がまん型

五十二年度予算大蔵省案が十三日示されたが、福祉の中心は、健康保険自己負担の大幅アップなど弱者を直撃する。「低福祉高負担」で福祉政策は大幅に後退。二十世帯に二人の養母を、その母子寮関係者の要求は認められず、運営費アップでもわずかに七％だけ。(1・13朝日)

わくわくしく「ケチ福祉」

総額二十八兆五千四百四十二億円・十三日、五十二年度予算の大蔵省案内定。景気浮揚、物価抑制、財政再建というトリレンマ(三重苦)の中で、中身はチビチビ福祉に、値上げラッシュ。

(1・13読売)

女性のアルコール患者ふえる

夫や家族を送り出してからチビチビやったり、夫の帰りを待ちながら飲んだりの主婦が増加。(1・13毎日)

保育料値上げ

三歳以上一・九五倍平均アップ。三鷹市が四月実施。

(1・15読売)

どうなる保育園建設

「保育園は騒音を発生させる。」

(1・15読売)



環境権を侵害する建設計画は認められない」と住民側。「区有地を放置できない」と区側。歩み寄る気配のない「元代々木保育園」。

(1・18読売)  
ボランティアの安定供給を  
身障者や寝たきり老人、施設の子どもの支えとなつて働くボランティアたちの質の向上と「安定供給」をめざす組織を全くの民間ボランティアで作ろうと「静岡ボランティア・ピア」が四月に発足する。

(1・25朝日)  
保父に門戸開放  
都内には練馬・立川・足立・大田の四高等保母学院があるが、新年度から保育所で働く男性に門戸を開放。二、三年後には「保父」が誕生する。(1・29読売)

消費運動、一千万人に  
関心事のベスト5は①安全性②健康③物価④消費者啓蒙、教育⑤生活環境(「公書」など)。

(1・31読売)  
過疎地で生き生き(長野)  
上伊那郡長谷村に主婦の生活改善グループ「かやの光」が生まれて十年。農業だけでは暮らせず内職生活だが、コラーゲンや手芸なども楽しく。(1・31信毎)

五つ子スクスク満一歳  
鹿児島市立病院でウブ声を上げて今日で一年。(1・31読売)

「保父さん」の説明会  
東京都私立保育園連盟対策雇用委の主催の会に百人以上つめかけた。四時間立ち続けて帰らぬ参加者の九割が男性。養成校は？仕事の内容や賃金は？と熱心に質問。女性からは「女性の職場を狭めるのでは」と心配が。(2・2朝日)

大卒女子は売り場店員  
苦しい女子就職戦線の中で「ヤスコ」などスーパーが大規模採用。今までの採用の結果が成功だったから。だが大卒のレヴェルはこの業界ではもう無意味。(2・4朝日)

「保父さん」の説明会  
東京都私立保育園連盟対策雇用委の主催の会に百人以上つめかけた。四時間立ち続けて帰らぬ参加者の九割が男性。養成校は？仕事の内容や賃金は？と熱心に質問。女性からは「女性の職場を狭めるのでは」と心配が。(2・2朝日)

大卒女子は売り場店員  
苦しい女子就職戦線の中で「ヤスコ」などスーパーが大規模採用。今までの採用の結果が成功だったから。だが大卒のレヴェルはこの業界ではもう無意味。(2・4朝日)

「保父さん」の説明会  
東京都私立保育園連盟対策雇用委の主催の会に百人以上つめかけた。四時間立ち続けて帰らぬ参加者の九割が男性。養成校は？仕事の内容や賃金は？と熱心に質問。女性からは「女性の職場を狭めるのでは」と心配が。(2・2朝日)

坂西さん  
遺産を国際文化会館へ  
国際交流・文化活動で大きな足跡を残した坂西志保さんが、私財一億数千円を国際文化会館の活動資金に寄付したことが一周忌の機会に発表された。

(1・15毎日)  
福島に女性町長が誕生  
東白川郡棚田町で、前町長未亡人藤田満寿恵さん(五四)が初当選。女性町長は同県では初めて。全国でも岐阜県本巣郡穂積町町長について二人。

(1・15毎日)  
こけしに女の魂を  
会津若松の井上ゆき子さん。四十七年以來、こけし工人として幾多の賞を。(1・25読売)

一級電機技師  
通学三年でふとん仕立ての仕事場を。斎藤年子さん(三五)。

(1・25読売)  
料理計量化の先覚者  
香川綾さん(七七)。東京女子医専卒業後、栄養士を料理に導入。世界唯一の「栄養大学」を創設。早期マラソンを欠かさない一徹な朝の女。(2・2朝日)

(2・2朝日)  
国連大学の副学官  
千三百人の中から選ばれた田代泰子さん(三三)。

(2・2朝日)  
「北の女たち」を追う  
高橋三枝子さんが主宰する北海道女性史研究会が昨年十一月、「北海道の女たち」を発刊。

まじめなSさん  
私のアルバイト先にSさんと無口でおとなしく、まじめな人がいます。Sさんはいつも母や祖母たちの歴史との生きたまを「女の視点」から見つめ直そうと「証言」を聞き書きした。(1・12北海道)

(1・12北海道)  
薬の山に殺された娘  
重症無力症で入院中の女性が突然、呼吸困難を起こして植物人間になり、死亡。母親は「薬の大量投与で娘が死んだ」として、病床日記に独自調査の資料をつけ、一冊の本を出版、医学論争に発展。(1・13読売)

(1・13読売)  
「スペイン子連れ留学生」  
七歳と四歳と二歳の女の子を連れて「一年間スペインに留学したママの「子連れ留学記」が出

「子連れ留学記」が出  
「子連れ留学記」が出

話のまつり」を開く。  
(1・5朝日)  
あるスモン女性の青春  
星三枝子さん(二八)の八年間

星三枝子さん(二八)の八年間  
にわたる点字手記「春は残酷である(毎日新聞社刊)が一月下旬に出版される。(1・6毎日)

(1・6毎日)  
「私の言いたいこと」  
市川房枝著。四分の一くらい

市川房枝著。四分の一くらい  
が自伝。あとは日本の政治の仕事と問題点を示したものだ。

ひめゆり教師の本  
沖縄戦線で悲惨な最期を遂げた「ひめゆり学徒隊」ただ一人の引率女教師親泊千代さんをして一冊の本が、東京女子高等師範学校(現お茶の水女子大)時代の同級生辻千鶴子さんの手で自費出版された。百二十六ページの小型本「伊原野(いばるの)に死す」(1・9読売)

(1・9読売)  
「おんなの事典」コーナー  
三省堂書店(新宿・渋谷・池袋各店)は、二月五日から二十八日まで「おんなの事典」コーナーを特設。女性解放情報書を集めて販売。(2・5読売)

(2・5読売)  
自己をさらけ出す勇気を  
アメリカでは、女同士でもトータルな人間関係があるのに、日本では部分的なつきあひしかない。一人の人間が他の人間といきいきと結びつていくためには、自分を見つめて、見つめられる自分を人に伝える「勇気」と技術が必要。

(河野貴代美・1・12読売)  
家庭内暴力に悩む主婦  
四二歳の主婦。同年の夫との間に高三、中三の子供。家族への思いやりなく、パチンコに狂い、性に狂う夫。

(答 平井富雄)「徐々に甘えを切りながら専業主婦として責任を持たせる訓練が必要。あなたが夫のつもりでこきつかうことをすすめる。(1・19読売・相談)

(1・19読売・相談)  
国会に女性代表を  
女性の校長は、長野県下小・中学を通じて一人もいないが、それは単に長野の男性に認識がないというだけでなく女性にも原因がある。心強い同僚が足をひっぱることをやめて、連帯の輪を拡げよう。

(金原良子・1・20信毎)

女性民俗学会雑誌復刊  
柳田國男によって作られた「女の会」による「女性と経験」が復刊。年一回刊、三百円。連絡先は、新宿区東大久保二二〇、瀬川清子。(1・23読売)

(1・23読売)  
「都市と主婦たち」  
神戸市を舞台に、戦後の主婦

神戸市を舞台に、戦後の主婦  
たちがいかに自分を見つめ、自分たちの住む町のあり方を考え行動し、成長したか、消費者運動・市政懇談会などを通して解きあかした本を出版。

(1・29毎日)  
「おんなの事典」コーナー  
三省堂書店(新宿・渋谷・池袋各店)は、二月五日から二十八日まで「おんなの事典」コーナーを特設。女性解放情報書を集めて販売。(2・5読売)

(2・5読売)  
自己をさらけ出す勇気を  
アメリカでは、女同士でもトータルな人間関係があるのに、日本では部分的なつきあひしかない。一人の人間が他の人間といきいきと結びつていくためには、自分を見つめて、見つめられる自分を人に伝える「勇気」と技術が必要。

(河野貴代美・1・12読売)  
家庭内暴力に悩む主婦  
四二歳の主婦。同年の夫との間に高三、中三の子供。家族への思いやりなく、パチンコに狂い、性に狂う夫。

(答 平井富雄)「徐々に甘えを切りながら専業主婦として責任を持たせる訓練が必要。あなたが夫のつもりでこきつかうことをすすめる。(1・19読売・相談)

(1・19読売・相談)  
国会に女性代表を  
女性の校長は、長野県下小・中学を通じて一人もいないが、それは単に長野の男性に認識がないというだけでなく女性にも原因がある。心強い同僚が足をひっぱることをやめて、連帯の輪を拡げよう。

(金原良子・1・20信毎)

(金原良子・1・20信毎)

# 声・相談

びであるのかも知れない。  
(森繁久彌・1・6毎日)

(森繁久彌・1・6毎日)  
もって女性に政策参加を  
都の予算や政策決定には、どれだけ女性がかかわっているのか。本庁の課長クラス以上の女性職員は二部長(都民生局婦人青少年部長、同消費生活部長)が最高のポスト。技術系で出先機関の部長同職が六人。本職の課長クラスは八人。知事部局職員五万七千九百人のうち二三％が女性。女性管理職の比率があまりに低すぎることは明らかだ。

(1・9毎日)  
自己をさらけ出す勇気を  
アメリカでは、女同士でもトータルな人間関係があるのに、日本では部分的なつきあひしかない。一人の人間が他の人間といきいきと結びつていくためには、自分を見つめて、見つめられる自分を人に伝える「勇気」と技術が必要。

(河野貴代美・1・12読売)  
家庭内暴力に悩む主婦  
四二歳の主婦。同年の夫との間に高三、中三の子供。家族への思いやりなく、パチンコに狂い、性に狂う夫。

(答 平井富雄)「徐々に甘えを切りながら専業主婦として責任を持たせる訓練が必要。あなたが夫のつもりでこきつかうことをすすめる。(1・19読売・相談)

(1・19読売・相談)  
国会に女性代表を  
女性の校長は、長野県下小・中学を通じて一人もいないが、それは単に長野の男性に認識がないというだけでなく女性にも原因がある。心強い同僚が足をひっぱることをやめて、連帯の輪を拡げよう。

(金原良子・1・20信毎)

(金原良子・1・20信毎)

(金原良子・1・20信毎)

(金原良子・1・20信毎)

長い別居は妻に不利？

夫から出ていけといわれ別居した。夫の弁護士は離婚裁判で妻に不利というが：

(答)「夫の愛人関係が原因の場合が夫が訴訟しても認められませんか」

(鍛冶千鶴子・1・25読売)

制度改善して看護の心を賃上げ要求に固執すると看護は魂を失うという説があるが、百年前のナイチンゲールに戻るもの。保健医療制度の改善が課題では。

(大園美智子・2・2朝日)

女の解放と女ことは英語も日本語も、丁寧な話し方には、女に高い基準が期待されているが、これは、女が自由に考え、表現する神経とエネルギーを規制する足かせ。「女性主体性がなく、創造性に乏しい」と一般に考えられているが、そのように育ててきた社会的文化的条件づけの産物にすぎないと、井出祥子さん(2・3毎日)

婦人の知識低下

「問題提起しても意見が出ない。テーマを選ぶのに苦勞。主婦の工場勤めが原因」と社会教育の先輩に指摘されショック。(投書2・4信毎)

## 事件と刑

死んだ老夫と三日間

神戸市で発見。老夫(七四)のそばに妻(八一)が衰弱しきっていた。(1・6各紙)

蒸発ママが出頭

嬰兒を置き去りにし、父親が逮捕されたのを知って蒸発した母親が出頭。「夫と別れ子供と

ひっそり暮らしたい」と。

(1・12各紙)

キーバンチャー焼身自殺

五年キャリアのキーバンチャーが腕のしびれで通院していたが、腕に絶望し、庭先で焼身自殺。埼玉県草加市で。

(1・17各紙)

女性性タリリスト焼身自殺

仕事の魅力にとりつかれた四歳の子をもつ母親が、仕事と育児のはざまで悩み焼身自殺。

(1・17各紙)

娘さん孤独な死

十八日中野区四畳半のアパートの電気コタツで死後一か月の沖繩出身美容師見習女性が発見された。食物もお金も皆無で。

(1・19各紙)

泣き叫ぶ二児突き落し母も

札幌市のホテルの七階から夫婦げんかして。(1・20各紙)

「遊び相手」に友人世話

女子高校生をそのかして売春させていたゲームセンター経営者と、友達を世話した少女二人を逮捕。(1・22各紙)

母が子を：

二歳の子を湯ぶねで。広島の主婦(二二)。(1・25信毎)

五歳と二歳の子を刺した二十

九歳の母。横浜で。

(1・25信毎)

寒空に幼い兄弟捨てた父親

妻に逃げられ「チカレタ」と五歳、二歳を新宿駅に置き去り。(1・25各紙)

「チカレタ」父逮捕

父が自首。(1・27各紙)

弘田三枝子さん刺される

愛人の妻にナイフで刺され、全治十日間。(1・25各紙)

が。「育児に自信を無くした」と母親が犯行を自供。

(1・26読売)

主婦作業員三人死亡

新潟の地すべり防止工事現場のなだれで。(1・29信毎)

縦母が六歳坊や惨殺

福岡県で若い縦母が。「愛人をつくった夫への報復」と自供。(1・30読売)

赤ちゃん投げ殺す

埼玉県児玉郡で「先妻の子」殺し事件。(2・4毎日)

口論、妻が夫に熱湯

妻(五二)の実力行使で夫(五八)は死に。(2・4朝日)

## 海の外では

議会で父親が育児多忙な奥さんに代わり、米九十五議会の席上で、議員(マックス・ボークス氏)が赤ん坊にミルを。(1・6読売)

日系婦人が米国防務次官補に

カーター米次期大統領はハワイ州選出の日系民主党政前下院議員バツイー・タケモト・ミンク夫人を、海洋・環境問題担当国防務次官補に近く任命。(1・7各紙)

現代駆け込み寺繁盛

アメリカでは夫の妻虐待が問題になっており、「駆け込み寺」シェルター(避難所)が続々できている。二十四時間電話を受けて、子供連れで駆け込んで来る妻を保護し、一泊二十五セントから二ドルで泊まる部屋を提供。(1・8朝日)

妻の性交渉承諾権

南オーストラリア州上院は結婚している「夫婦間の強姦」を

禁する法律を通過させ、この種の法律を制定した世界初の地域となった。(1・8朝日)

パパの育児休暇は七か月

夫婦は子どもに対して平等の育児義務と責任があると、スウェーデンでは九五%の賃金を保証しながら、連続または断続的に子供の世話のできる七か月の父親休暇制度を三年前から実施。利用者が増え、有資格者の七%に。(1・8朝日)

米女性、地位向上に奮闘中

カーター政権では、女性登用選考に当たり、妊娠、育児期間の三、四年の空白期間は職務中とみなす等の政策を発表。(1・17朝日)

非教育ママ

女性が働くのは普通のこととその収入のほとんどが、家事手伝いの手にわたるケースが多いというフランス。月一度夜六時からP.T.A.会合では「なぜ、成績のことで子供の競争心をあおめるのか」と先生を責める。(1・17読売)

妊娠中絶法イタリヤ下院可決

妊娠三か月以内の女性について中絶を認める。(1・22毎日)

女性神父禁止のバチカン通達

二十七日に通達したが、これは差別ではないとローマ法王。は「女性に主ではない。イエスもマリアを神父にしかかった」。(2・1朝日)

# 伝える！

自己宣伝も大歓迎。  
1コマ1000円アース！

おカネ出しても伝えたいことある？  
言いたいことある？

編集者助けて！  
各種原稿・校稿・肉抜き・編集と  
雑務をこなして下さる方。  
勤務先都合で週四日勤務で五万  
五千円(交通費支給)ご希望の方  
は左記に履歴書と急ぎで下さい。  
〒160 新宿区新宿二丁目八番八号 八人舎

宝珠と鎌倉のり  
市価の半額で！  
〈77年なまの会員証〉  
を心持参下し、  
特価サービスします。  
はな会員の店  
東京、銀座1-8-9  
ファミル(山崎)  
(読売本館の裏)

各地の女性解放ミニコミを  
お求めの方——一括して  
お届けします。  
取扱中「ミニコミ一覧表」  
をお送りします。五十円  
切手封入の上、左記へ。  
〒160 東京都新宿区新宿二丁目六  
あじろミニコミ係

## 〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会	場
2月20日(日)	18:30~	魔女コンサートをつくろう	〈ホーキ星〉 毎日曜日開催	ホーキ星	03-341-9364
21日(月)	19:00~	マスコミの性差別をチェックする	〈リブ新宿センター〉 毎月曜日	リブ新宿センター	03-370-6007
22日(火)	18:30~	行動を起こす女たちの会・教育分科会		中島法律事務所	03-352-7010
	19:00~	女のからだティーチン	〈リブ新宿センター〉 毎月第2・3・4火曜日	リブ新宿センター	
		3回で1コース スライド上映、スベキュラム(腔内鏡)の使い方、ほか。			
		参加希望者はTELで予約を。			
23日(水)	19:00~	プージン集い	—アジアの女性との交流会 〈リブ新宿センター〉	リブ新宿センター	
24日(木)	18:00~	公職選挙法の勉強会	〈行動を起こす女たちの会〉	中島法律事務所	
25日(金)	18:00~20:00	保育所と母親	〈あごら北海道・例会〉	札幌クリスチャンセンター	
	18:00~21:00	ポーランドに学んで—清和洋子	〈婦問懇・女性史分科会〉	文化服装学院出版局3階応接室	03-370-4487
	19:00~	女のからだのおしゃべり会	—妊娠・出産編 山田美津子	ホーキ星	
26日(土)	13:00~	国内行動計画における福祉政策を検討する	—駒野陽子 〈婦問懇〉	渋谷勤労福祉会館	03-462-2511
	14:00~	私とあごら	〈あごら九州・例会〉	福田宅	092-751-5002
	19:00~	女のうた—中山ラビ	〈ホーキ星〉 会費1,000円 20人限り 予約制。	ホーキ星	
27日(日)	13:00~16:30	結婚の意味を問う継続討論会		豊島振興会館小会議室	03-981-1111
	13:00~	子殺しを考える会・例会		川口市栄町公民館	
	13:30~17:00	子育てこんだん会—働くことと子育て	〈「交流」編集会議〉	中野文化センター和室	03-383-1631
	19:30~	中野ハリの会	講師—山田真医師 会費100円	「交流」事務所	03-385-2293
28日(月)	18:30~21:00	活元大会	〈からだのひろば〉参加費300円	神宮前区民会館	03-409-4565
3月1日(火)	13:30~	国際的視野から見た日本人の結婚	—沢田マグリット 〈あごら東海例会〉	名古屋・勤労婦人センター	
	18:30~21:00	ヨガと武術的な身体のとらえ方について	〈からだのひろば〉	千駄ヶ谷区民会館	03-402-7854
2日(水)	13:30~15:30	からだをうごかしよう—3才以下のお子さんとおかあさん、あつまれ!		神宮前区民会館	
	19:00~	女が女を描く会	〈ホーキ星〉 毎月第1・3水曜日	ホーキ星	
4日(木)	18:00~21:00	刑法・少年法改悪に反対する3・4市民集会	〈東京弁護士会〉	中野文化センター	
5日(金)	13:30~16:00	政府決定の国内行動計画に不満を表明する集会	〈41婦人団体〉	主婦会館	265-8111
8日(火)	18:00~	国際婦人デー・中央集会		中央区立中央会館	03-542-8585
	18:30~	刑法改悪に反対する婦人会議連絡会		中島法律事務所	
10日(木)	18:30~	中学校国語教科書における男女性差別についての調査のまとめ	〈婦問懇・マスコミ・日常生活分科会〉	ホーキ星	
		問			
11日(金)	18:00~	女が食えないからくり—その2	〈行動を起こす女たちの会〉	千駄ヶ谷区民会館	
12日(土)	19:00~	男の料理を女が食べる日	作人—矢崎泰久 20人限り、予約制。	ホーキ星	
13日(日)	13:00~17:00	行動を起こす女たちの会・離婚分科会		「あごら」読書室	03-354-9014
25日(金)	11:00~14:00	花を見ながら、生きざまを語り合おう	〈あごら東京・例会〉	新宿御苑	

(この欄に掲載ご希望の方はハガキでお申し込みください。掲載無料—〒160 東京都新宿区新宿1-9-6 〈あごらミニ〉編集部)

### 各地の〈あごら〉例会案内

#### □ あごら北海道

・保育所に子どもを預けている母親の話を聞く。

・2月25日(金) 午後6時~8時

・札幌クリスチャンセンター1

▽問い合わせ ☎011-731-3388

#### □ あごら東京

・新宿御苑の花を見ながら生きざまを語り合おう

・いつも夜でなかなか参加できないという人たちの声から企画しました。おべんとうを持って、子連れでどうぞおでかけ下さい。当日は保父さんもいます。

・3月25日(金) 11時~2時

・新宿御苑

▽問い合わせ ☎03-354-9014

#### □ あごら東海

・国際的視野から見た日本人の結婚

・講師—沢田マグリットさん(南山大学講師)

・3月1日(火) 午後1時30分より

・名古屋勤労婦人センター1

▽問い合わせ ☎052-621-0839 高橋

#### □ あごら九州

・私とあごら あごらに関することや、日頃の思いを語り合いましょ。

・2月26日(土) 午後2時より

・福田宅 福岡市中央区大濠2の1の1 パールシャトゥ

三〇一

▽問い合わせ ☎092-751-5002

### ■ 編集後記

話したいこと、訴えたいこと、思いがあふれて十六ページでは何としてもミニすぎる。

でも、これがいま私たちが出せるぎりぎりのページ数です。その中に今月は「行動計画」の原文が入って、〈伝える〉を縮小、と〈削る女〉をやむなく割愛しました。

できる限り早く次号をお届けします。

ミニへの批評、注文、提案などどしどしお寄せ下さい。